

「新たな大分県DX推進戦略（案）」に対する県民意見の募集の結果について

令和8年2月24日

大分県総務部デジタル政策課

令和7年12月19日から令和8年1月23日までの間、県民の皆様から募集した「新たな大分県DX推進戦略（案）」についてのご意見の概要、ご意見に対する県の考え方及び計画への反映状況を取りまとめましたので公表します。

なお、4人の県民の皆様から13件の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

番号	提出者数	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や人手不足を挙げるなら合計特殊出生率を向上するDXの取組があるべき。(不妊治療のDX、生殖補助医療の普及、フェムテックの推進等) 	<ul style="list-style-type: none"> 県では、若い世代が結婚や妊娠・出産、子育ての希望を叶えられるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行っています。 こども分野のありたい姿の実現に向け、頂いたご意見も参考にしながら、DXの推進により各サービスがより使いやすいものとなるよう取組を進めてまいります。
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔教育は推進するべきだが、生徒指導力のある教員育成も必要。 教員のICTスキル不足も課題であり、専門人材の活用を検討すべき。 生成AIの校務活用の目標年度(R15)が遅く、もっと早期の達成を目指すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔教育やICT活用は、学校のあらゆる教育活動で生徒指導を支える重要な手段です。これまで、ICT支援員を学校に派遣し、ICT活用や教員のスキル向上を目的とした校内研修を支援してきました。引き続き、こうした取り組みにより教員の指導力向上に努めてまいります。 また、生成AIの校務活用の目標年度については、令和15年度から令和9年度に修正します。
3	2	<ul style="list-style-type: none"> 海上交通もはやく自動運転が導 	<ul style="list-style-type: none"> 開発が進む自動運航船について、

		<p>入されるとありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通勤時間帯の交通渋滞（下郡周辺など）への対応が必要。 	<p>引き続き技術開発や法改正の動向を注視してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、交通渋滞への対応については、関係機関と連携を図りながら、改善に努めてまいります。
4	2	<ul style="list-style-type: none"> 防災アプリの評価が低く、ダウンロード数向上のため改善すべき。 南海トラフ地震発生時、ペットの対応や、ハザードマップの周知不足が懸念。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、アプリの利便性向上に努めてまいります。 また、ペット同行避難の推進やハザードマップの周知にも努めてまいります。
5	1	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄がなくなるようにしてほしい。大小問わなければ県内の至るところに溢れているという感覚をもってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、監視カメラなどを活用した監視体制の強化や SNS による啓発活動に取組み、市町村等と連携した未然防止に努めてまいります。
6	1	<ul style="list-style-type: none"> 稼ぐ力の向上をどう評価するのか分からない。適正な規模は経営者ごとの経営判断がある。 	<ul style="list-style-type: none"> D Xを通じた稼ぐ力の向上は、業種や規模に応じて、生産性や付加価値の向上などの観点から評価することが適切だと考えます。 県内事業者が売上や利益を伸ばせるように、各事業者の経営判断等に応じたD Xへの取組を支援してまいります。
7	1	<ul style="list-style-type: none"> 農業は基幹産業だと言われているが成長産業ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業は食料供給等を支える基幹産業と、スマート技術等の新しい技術などにより高い成長率が見込まれる成長産業としての両方の側面があります。 農業の成長産業化に向け、ICT 技術等を活用したスマート農業の推進を通じて生産性向上に努めてまいります。
8	1	<ul style="list-style-type: none"> 「DMP」という略語は意味が多岐にわたり分かりにくいいため、表現を見直すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤解を招かない用語に変更します。

9	1	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請は便利だが、役場の窓口を閉鎖するようなことはしないほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請の推進と併せ、対面窓口の役割も大切に、誰もが利用しやすい行政サービスの実現を目指して、オンライン・対面の両面での利便性向上に努めてまいります。
10	1	<ul style="list-style-type: none"> フリーアドレス化を進めるにあたって、経費増にならないか懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> フリーアドレスは1つの例ですが、費用面のバランスを考慮しながら、業務の性質や個々の職員の事情に応じた効率的かつ多様で質の高い働き方が実現できる執務環境の整備を進めてまいります。
11	1	<ul style="list-style-type: none"> 大学以外で年収2000万円以上とも言われる高度デジタル人材を育てるのは現実的ではないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキル向上と外部人材の活用を組み合わせながら、効果的な人材育成・確保に努めてまいります。
12	1	<ul style="list-style-type: none"> インターネット活用は良いことだと思うが、地域によっては光回線ではなく同軸ケーブルを使っている所もある。こうした通信環境の格差にどう対応するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信環境の地域差を解消するため、国や市町村、事業者と連携した環境整備の推進に努めてまいります。
13	2	<ul style="list-style-type: none"> 空飛ぶクルマ等の目標値が「市町村数」となっていることから、地域間格差が生じないよう県が主導すべき。 デジタル支援員を公民館に専従配置してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、新技術の導入や先進施策において市町村間格差が生じないよう、県として調整・支援に努めてまいります。 また、地域のデジタル活用支援体制についても、市町村等と連携しながら、実効性のある支援方法を検討してまいります。

総務部デジタル政策課地域DX推進班

電話 097-506-2083

電子メール a11840@pref.oita.lg.jp